



地域に密着する国際交流!!!

会長 白垣善行



この度、富士宮市国際交流協会（FAIR）が20年を迎えたこと大変うれしく思っております。また、1月25日には設立20周年記念事業「FAIR 20th Anniversary」が開催できたこと関係者の皆様には感謝しております。また、式典では須藤市長より「今後も富士宮市国際交流協会の活動を期待しています」と言うお言葉を頂きました。これも、会員みなさまの日頃からのご協力の賜物だと思っております。これからもみなさまのご指導・ご協力のもと頑張っていきます。さて、今回スローガンとして「富士山のまち 富士宮から世界へ」を作りました。富士山が世界文化遺産となり海外からの旅行者なども増えております。また、

富士山世界遺産センターができる事により国際交流の活躍の場が増えてくると考えております。従来行っている外国籍市民への支援事業も強化し、市民への啓発事業はじめ交流事業など、新しいニーズへの対応も視野に入れて行動していきたいと思っております。その行動がスローガンを実現させることになると信じています。

平成27年度は、富士宮市国際交流協会の事務局が富士宮市役所市民生活課から富士宮駅前交流センターきららへ移り2年目となります。会員が集まる拠点ができ、「協会がサービスを提供する」という発想ではなく、「一緒に活動し、協会を運営していける」ように会員が参加しやすい環境作りも行っています。そして、協会の発展に力を注ぎたいと思っております。また、会員のみなさまのご参加お待ちしております。

富士宮市国際交流協会 平成26（2014）年度事業

- | | |
|--|---|
| <p>5月 総会
国際理解講座「2020東京オリンピックを前に日本人に問われているもの」
第1期語学講座・日本語教室開始</p> <p>6月 世界の料理教室「台湾の家庭料理」</p> <p>7月 国際交流パーティ「ゆかた de 宮 with FAIR」
「外国につながる生徒と保護者のための進路相談会」協力</p> <p>8月 宮おどり 参加
日本語支援ボランティア養成講座
おしゃべりラウンジ「夏休みスペシャル」</p> <p>9月 第2期語学講座・日本語教室開始
おしゃべりラウンジ「防災スペシャル」</p> <p>10月 市民生活展 参加
世界の料理教室「イランの家庭料理」
栄州市中学生交流訪問団 協力
日本語支援ボランティア養成講座特別研修会
「ボランティアの動きこれから～自分たちの中にいる外国人と一緒に活動していくには～」</p> | <p>11月 きららまつり 参加
「子を持つブラジル人のための講演会」開催
都市交流事業「紹興酒飲ま Night」</p> <p>12月 舟久保区防災訓練 協力
異文化交流もちつき大会</p> <p>1月 第3期語学講座・日本語教室開始
設立20周年記念事業
「FAIR 20th Anniversary」</p> <p>3月 国際交流パーティ「富士錦酒造蔵開き
美味しい日本酒とおつまみの国際交流パーティー」</p> |
|--|---|

上記以外に年間を通じて、日本語を母語としない市内児童・生徒に対し日本語支援を行っています。また、外国籍市民への日本語支援の場として5月より月1回「おしゃべりラウンジ」を開催。そのほか富士宮市役所の協力により、「広報ふじのみや外国語版（ポルトガル語・英語・スペイン語）」の発行・配布を行っています。

富士宮市国際交流協会 (FAIR)は 平成26年7月30日で設立20周年を迎えました。



富士宮市国際交流協会設立20周年記念事業

『FAIR 20th Anniversary 富士山のまち 富士宮から世界へ!』

後援：富士宮市 協賛：(公財)みやしん地域振興協力基金

平成27年1月25日(日) 10:00~15:00 富士宮市民文化会館にて行われた記念事業には多くの外国籍市民を含む800人を超える来場者が集まり、設立20周年を祝いました。

記念式典

来賓のみなさまからお祝いのお言葉をいただいたのち、日頃 FAIR に対し特にご貢献いただいている所属団体およびポスター展にご協力いただいた富士宮東高等学校美術部に対し感謝状を贈呈、また、ポスター展会長賞の贈呈・写真展受賞者の表彰を行いました。(写真展受賞作品は8ページを参照のこと。)

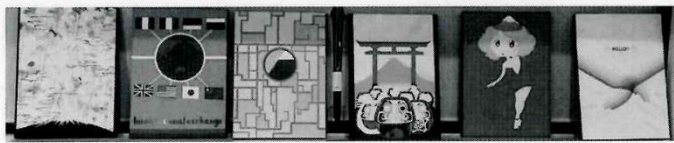


須藤秀忠市長より
お祝いの言葉



式典に華をそえた3人

- <感謝状贈呈>ラテンアメリカ研究会 富士宮サッカー協会
ACC 国際交流学園 星陵高等学校
- <ポスター展会長賞>鎌倉 佳穂さん



展 示

都市交流委員会による友好交流関係都市紹介では韓国・栄州市出身のキム・ソヨンさんが講演会を行ったほか、多文化共生委員会によるおしゃべりラウンジが開催され、星陵高校英語部が活躍しました。パネル展示参加団体は以下のとおり「NPO 法人まちづくりトップランナーふじのみや本舗」「富士宮国際姉妹都市協会」「フィセア国際交流協会」「ヒッポファミリークラブ」「中国語サークルニーハオ」「ラテンアメリカ研究会」「ACC 国際交流学園」「SOVA」



ホンジュラス・グアテマラ・イラン・パキスタン・スリランカ・中国・ペルー・フィリピン・モンゴル・ブラジル各国のブースが大賑わい!



静岡に留学して1年を迎えるキム・ソヨンさん。平成27年度8月には、サッカーふじさんカップに故郷栄州市から選手団が多数来宮するほか、秋には中学生交流研修訪問団が来宮予定です。親しみがわくお話しをいただきました。



ステージ

中国・北京出身。京劇俳優で画家でもあり、NHK「中国語会話」でもおなじみの盧思先生による“霸王別姫 剣の舞”の京劇パフォーマンス。遠方から足を運んだファンも多く、その美しさ・凛々しさに魅了されました。

後半は観客を京劇俳優に変身させるの巻！美しくメイクした高校生の倉本恵大君、そして中国語サークルニーハオの皆さん、ご協力ありがとうございました。



富士宮市の外国籍市民登録数トップのブラジル人たちとともに楽しい時間を分かち合いたい…その願いを叶えてくれたのが、ブラジル出身で‘10年NHKのど自慢チャンピオン大会優勝者のホベルト・カザノバさんによる歌と踊りのステージです。

奥様ミカさんとのボサノバデュエットをはじめ、のど自慢大会で審査員を感涙させた五木ひろしの「契り」、ブラジリアン音楽の名曲の数々…。美声に酔いしれた後には会場総立ちでサンバ！サンバ！一転みんなで手をつなぎ、輪になり口ずさんだ「上を向いて歩こう」で迎えた大団円は20周年を祝うにふさわしいステージとなりました。

尾花さん、ダリオさん、プーガさん、ジアンさん、ちびっこダンサーズのみなさんもObrigada!!! ありがとう!!!



世界の食

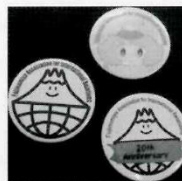
「王様のカレー（インド）」「コネクション・キーパー（ブラジル）」「D.F. BRASIL FOODS（ブラジル）」「DELICIAS DEL VALLE（コロンビア）」「ペルシャ・キッチン（イラン）」「チキンハウス（日本・からあげ）」「藤太郎（日本・クレープ/和菓子）」「白糸滝養魚場（日本・カップ寿司）」

【FAIR 20th Anniversary 実行委員】

- 実行委員長：白垣 善行
- 原 義広 植松 愛子 望月美登里 大賀 典子 篠原 千穂
- 稲葉美津恵 白垣智緒美 仲嶋 静雄 倉本 恭子 山本 静夫
- 平林千亜紀 和気 悠 引間マリサ 野本 貴之

社会人ボランティアのみなさん、
星陵高等学校英語部ほか
学生ボランティアのみなさん

おつかれさまでした。
ありがとうございました！



授産所「ふじさん」の協力を得て、記念バッジを作製いたしました！



都市交流事業

紹興酒飲まNight!

平成 26 年 11 月 29 日(土) 富士宮駅前交流センターきらら 1 階多目的ホールにて富士宮市の友好交流関係都市である中国・紹興市と、「市民レベルでもっと交流を深めようじゃないか!」と、都市交流委員が立ち上がりました。

選りすぐりの紹興酒を片手に、各自持ち寄った美味しい料理に舌鼓を打ちながら拝聴する李軍氏の紹興市紹介講演は、スライドの情景も美しく、あっという間の3時間でした。



▲ずらりと並んだ紹興酒!

おいしい料理に中国ポップのBGM。話も弾みます。▼



<20周年を迎えて思うこと>

都市交流委員長 塩川小百合

10年前、富士宮に越してきたとき、日本人ながら戸惑うことが多くありました。多種多様な人と言葉の中で暮らした時間が長かったので、保守的な社会に馴染めずにいたのです。

そんな中、手探りで自分にできそうな事を探し、巡り合ったのが「富士宮市国際交流協会」でした。

しかし、自分の想像とは違い、市政がお膳立てして、運営している組織だったので、正直がっかりしました。それなのに、その事務に係って、市から民間運営への移行をすることになり、6年間、事務局という裏方に携わっていました。

当時、事務局は市役所にあったので、庁内のいくつかの部署で、外国籍市民の援助もしました。それぞれのヘルプに対応する中で思ったことは、自治会の班長

さんがブラジル人だったり、消防団にフィリピンの人がいたり、いろんな国の人が公民館や体育館の講座に参加できれば、楽しいだろうな、わざわざ国際交流とか多文化共生とか銘打たなくても、多文化であることが自然な社会になればいいな、ということでした。

さて、20年目となった「富士宮市国際交流協会」ですが、民間の手に移った今は、10年前の姿とは明らかに違います。また、現在の日本社会では「国際」は、「世界」になり、日本以外の地域、文化、言語、国籍の人々と向き合う姿勢が自然になっています。それに沿った活動をこれからは考えていかななくてはならなくなるでしょう。

5年後、10年後、この協会はどうな変化を遂げるでしょうか? 世代もメンバーも変わり、もちろん考え方も変わるでしょう。どこの地域、国から来た人も入っている、開かれた富士宮市を望み、またその橋渡しを担えることを期待しています。

FAIR 語学講座

募集は「広報ふじのみや」または協会HP・FBにも掲載されます。年を3期に分け、1期10回の授業が行われます。

<初級英会話> 金曜 13:30 ~ 15:00

スティーブン・ストーリー先生



<中級英会話> 水曜 19:00 ~ 20:30

セイマカラガー・瑞恵先生



<中国語講座> 火曜 19:00 ~ 20:30

楊悦先生



<韓国語講座>

金曜 19:00 ~ 20:30

柳仙珠先生

韓国語のレシピを解説しながら、有志で料理教室も楽しみました。



多文化共生事業

<FAIR20thに寄せて>



多文化共生委員長 大賀 典子

FAIR20周年は、同時にヒッポファミリークラブ(富士宮)の20周年でもあり、設立と同時に団体会員としていろいろな事業に関わってきたので、個人的にも感慨深いものがあります。

FAIR 設立当時は「多文化共生」という言葉は皆無だったように思います。一般的に使われ始めたのは10年前頃からでしょうか。FAIR でもそれまで「外国人交流委員会」と言っていたものを2012年度から「多文化共生委員会」と改めました。

外国籍の方がより良く暮らせるようサポートをしながら、富士宮に暮らす全ての人が国籍・ことば・文化の違いを超えて、互いに尊重し、寄り添い、助け合いながら、共に心豊かに暮らせるようにと活動を続けており、多くの日本語支援ボランティアさんにも参加していただいています。

今年度は、これまでの活動に加えて新たに「おしゃべりラウンジ」を月1回きららにて行いました。イベント的なものではなく、多国籍の人がおしゃべりしたり、日本語の勉強をしたり、困っていることを相談したりして、気楽に集える場があればいいなという思いから始まりました。まだまだ改良の余地ありますが、FAIRの拠点きららが、本当の意味での多文化共生の拠点になるよう今後とも努力していきたいと思います。

おしゃべりラウンジ

にほんごで交流(こうりゅう)しましょう。
予約(よやく)はいりません。
気軽(きがる)にきてください。

【今年度の開催スケジュール】

場所：富士宮駅前交流センターきらら 1階 多目的ホール

時間：10:00～12:00(月により変更の場合有り)

4月18日・5月16日・6月20日

7月18日・8月22日・9月19日

それ以降は決まり次第

会報季刊・HP・FB・ML等でお知らせします。スペシャル企画もあります！



日本語支援ボランティア養成講座



ほぼ全受講生が日本語支援経験者だった今回、現在進行形の悩みを渡辺佳代子先生に相談しながら、全9回の講座でボランティア同士の絆も深まりました。

長く無理なく支援を続けていけますように。



10/30にはFILS 富田貴子氏の特別研修会が開かれました。

通 訳 支 援

市と連携し、高校進学相談会および舟久保区防災訓練を支援しました。ともに専門用語が多く、通訳する側にも工夫が要りました。防災訓練では、外国籍市民と地域住民の顔をつなげ、平時から自助共助の意識が育つよう努めました。



日 本 語 支 援



FAIR ボランティアによる外国につながる生徒・児童のための日本語支援。大富士中学校放課後学習室「アルコイリス」をはじめ、延べ393回の支援を行いました。

16歳以上の外国籍市民には「日本語の窓」による日本語教室が毎週火曜日開かれています。事務局までお問合せください。



「子を持つブラジル人のための講演会」

県の協力によりブラジル人心理学者ジュリアナ・パッホス氏のポルトガル語による講演およびカウンセリングが行われ10組の南米系母子が参加しました。



専門的なやり取りを母国語で忌憚なくできたことに参加者は感動していました。

文化交流事業

＜設立20周年おめでとうございます＞

文化交流委員長 白垣 智緒 美



文化交流委員会では、国際理解講座・世界の料理教室・市民交流・国際交流パーティー等、文化交流委員会の仲間たちと企画し開催しております。2013年より宮おどりに参加していますが、今年は総勢60名参加、多くの外国人の方も参加してくれました。みんな最後まで一生懸命踊ってくれて、来年も参加したい!! 絶対に誘って!! と言ってくれるほど楽しかったようです。国際交流パーティーは主にポットラックパーティーで行っているのですが皆さんが腕を振るって美味しい食べ物を持ち寄ってくれます。今年はゆかたde宮を企画し外国人の方に浴衣を着てもらい、人着物連主催の「和ごころupお稽古体験」に参加しました。着慣れない浴衣を長時間着ていたのですが皆さん疲れてる顔を一切せず楽しんでいました。世界の料理教室は台湾料理・イラン料理を開催しました。大盛況で

皆さん満足され食を通して文化を感じることが出来たのではないかと思います。国際理解講座は講師に加藤ローレデスさん(フィリピン出身)を迎え、外国人から見た日本の美德や、日本人にしてもらって嬉しいおもてなしについてお話していただき、ロールプレイング等を取り入れた講座を行いました。文化交流委員会は、とにかく楽しくみんなと交流したい!! と思っている方たちばかりです。富士宮市国際交流協会設立20周年!! 今後、もっともっと富士宮のみなさんに富士宮市国際交流協会を知って頂けるよう、そして仲間になって頂けるよう活動していきたいと思っています。その為にも是非、会員の皆さんにイベントに参加して頂きたいと思っております。HPやFacebook、広報ふじのみや、チラシ、新聞などで広報していきますので、ご参加をお待ちしております。そして一緒にイベントの企画をしてくれる仲間も随時募集しております。25周年、30周年その先も迎えることが出来るように、そして1人でも多く友達が出来よう、1つでも多く他国の文化を知ることが出来るよう、私も楽しみたいと思います。

国際交流パーティー

参加者が食べ物や飲み物を持ち寄る形式のポットラックパーティーを開催しました。いずれも他団体と連携する初の試み！委員みんなで頑張りました。

7月13日(日) ゆかた de 宮 with FAIR



有志による無償での浴衣貸出・着付けの先生の御協力・人着物連主催「ゆかたde宮」の協力・星陵高校英語部のボランティア活動・急な雨に対し、急遽車に乗せてくださった静岡・岳南朝日両新聞社のみなさん…本当に多くの方に支えられ、叶った事業でした。

フィリピンやペルー、中国、ベトナム出身の参加者は緊張した面持ちで茶道体験をし、互いに写真を撮影しあい、委員手作りのちらし寿司やてんぷらに舌鼓をうちました。「(茶道は)精神の修行をした。楽しかった！」嬉しい言葉を聞きました。



3月15日(日) 富士錦酒造蔵開き！ 美味しい日本酒とおつまみの国際交流パーティー



朝早くから場所取りに奔走！“SAKE”はもはや世界共通語。愉快的酔っ払いに国境はありません。多国語チャンボンで大笑い！ごきげんです。

市民生活展 きららまつりへの参加

10月18日・19日に富士宮市役所市民ホールで行われた「市民生活展」および11月15日・16日に富士宮駅前交流センターきららで行われた「きららまつり」に展示やおしゃべりラウンジ等で参加しました。特に「きららまつり」では、タイやインドネシアからの留学生やフィリピンからの技能実習生が、きらら利用団体の日本文化展示に興味深そうに楽しむ姿が印象的でした。



机に向かっての日本語の勉強は、今日は返上！百聞は一見にしかずで日本の文化を体得中。わたしたちにも母国の文化を教えてください。



手作り小物販売をしたパウラさん。ブラジル人のお母さんの頼もしい通訳はロドリゴ君。おつかれさま、ありがとう！



文化交流委員会のパネルに見入る芦澤副市長。一緒にいかがですか？おもしろいですよ。

世界の料理教室

6月14日(土) 台湾の家庭料理 協力：中国語サークル ニーハオ

富士山空港からもアクセスしやすい、今ホットな台湾出身の林書欣さんを迎え、「焼きビーフン」「台湾風玉子焼き」「パールミルクティ」を作りました。日本でも手に入りやすい食材に置き換え、中国語の質問が飛び交う、にぎやかな会となりました。



10月26日(日) イランの家庭料理 協力：ラテンアメリカ研究会

イラン・テヘラン出身のゴラムレザ・パラドカニさんを迎え、「ペルシャ風ナスと豆のトマトシチュー」「ペルセポリスのサラダ」を作りました。パラドカニさんのお兄さんはイラン習字と日本習字を融合させた字体が本国で認められている著名人。パラドカニさん本人も合気道有段者です。



@富士宮駅前
交流センターきさら

8月3日(日) 宮おどり “富士宮市国際交流協会連”

中国・インドネシア・マレーシア・アメリカ・フィリピンから来た技能実習生や留学生などを含む総勢60名が、富士宮の街を練り歩きました。今年で参加も2シーズンめ。仮装・民族衣装大歓迎！ということで、インド舞踊をたしなむ皆さんや巫女さんの仮装をした高校生まで、富士宮の民謡をスパイシーに彩りました。



12月21日(日) 異文化交流もちつき大会

児童館と共催で「異文化交流もちつき大会」を開催しました。

中国・ベトナムから来た留学生や技能実習生は「もちつきは初めて」ということでしたが、杵を振り下ろすテンポは鮮やかなものでした。丸める際には、どこまでも伸びる餅にてんやわんやのグループも！つきたての餅に皆さん笑顔がこぼれました。



奥様の里帰りで来日したアメリカ人男性。高さがある分つきあかりが早い？

「2020 東京オリンピックを前に 日本人に問われているもの」

フィリピン出身で、現在は浜松市で英語塾を営む加藤ロールデスさんを講師に迎え、“外国人が求めるおもてなし”について、ロールプレイングを交えて講演いただきました。



富士市のALTアルトゥロ・トレドさんが“英語しか話せない外国人”を好演！

「イラストなどで視覚的に訴える」「英語の情報がどこで手に入るか示す」「マナーの間違いは教えて正してあげる。それはSNS等で拡散され、外国人がマナーを学べる」「ハートとハートのコミュニケーションが大事！」



「あれ？外国人が横入り!?」⇒並ぶ習慣がない国も。「自販機に困っている?」⇒日本の普通が外国人から見たら最先端。しかも、日本語表記では温・冷もわからない。「ゴミを分別もしないで!!」⇒分別の概念がない国もある。また、日本語表記は読めない。悪気は無いので、まずは日本のマナー、システムを教えてください。

★ FAIR 設立 20周年記念 ★

「富士山のまち 富士宮から世界へ！」写真コンテスト

「富士宮市内で撮影した国際色豊かな写真」または「外国人が撮影した富士宮市の風景」というテーマのもと、53点もの力作を応募いただきありがとうございました。フィリピン・ブラジル・タイ・スリランカ等の外国籍市民からも応募があり、あらためて富士宮の魅力を再認識することができました。富士宮市役所市民ホールおよび協会 facebook における一般投票を経て実行委員会が選定し、以下の作品が選ばれました。



金賞 吉野 敦己さん 「七夕まつり」



銀賞 大賀 邦彦さん
「富士宮まつり Bagus (素晴らしい)」



銅賞 小林口エナさん
「Mt.Fuji Seen From The Sacred Gate "Torii"」



銅賞 望月 英樹さん
「大安吉日」



銀賞 堀澤 光栄さん
「宮おどり 一 富士宮市国際交流連」



銅賞 星陵高等学校英語部
「Asian Beauty」



特別賞 梨元 マイケル雄豊さん
「豊かな自然」

※facebookでの得票数が多く特別に選定されました。

編集・レイアウト・発行/
FAIR事務局
編集者 吉野 明日香
〒418-0065 富士宮市中央町5番7号
富士宮市国際交流協会
TEL (0544)22-8111
E-mail: info@fair-fujinomiya.com
URL http://www.fair-fujinomiya.com

デザイン・印刷/
株式会社 ぎょうちんさつ
TEL (0544)27-4055

編集後記

“don't be shy” 15年前ひとりぼっちで降り立った異国の地で手にした星占い。そこにあった一言に思わず涙したことを度々思い出します。事務局が富士宮市の玄関口に移り1年が経ち、より多くの外国籍住民および外国人観光客がきららを訪れるようになりました。あの看板には何を書いてある？この人は信じられるのか？固い表情で入ってくる彼らはすべて、15年前の自分です。まずは

彼らの表情をほぐすこと...それが役割のひとつだと思い、過ごしています。

会報には、外国籍住民のたくさんの笑顔がありました。FAIR がきっかけを作ったこの笑顔をより多くの富士宮市民にお届けしたい！「お互いに“don't be shy”だよ！」と伝えたい。今年度もよろしく願いいたします。

(事務局 吉野明日香)